

令和7年度  
岩泉町ヤングケアラー事態調査報告書

岩泉町健康推進課子育て支援室

令和8年2月

## 1 目的

町内におけるヤングケアラーと思われる児童の実態を把握し、必要な支援につなげるための基礎資料とします。

また、調査の機会を通じて、『ヤングケアラー』についての理解を深めることによりヤングケアラー自身に気づきを与える機会とします。

## 2 調査対象者

町立中学校に在籍する1年生から3年生の生徒

## 3 調査期間

令和7年12月から令和8年1月まで

## 4 調査方法

Teams（チームス）による回答（生徒に配布されている個人端末による入力）

生徒自身が回答する記名式アンケートで実施していますが、回答は任意としています。

## 5 調査結果

注意）率は小数点第二位四捨五入しています。

### (1) 回答数

	対象者数	回答数	回答率
1年生	56	44	78.6%
2年生	51	41	80.4%
3年生	55	53	96.4%
計	162	138	85.2%

## (2) 集計結果

①ヤングケアラー認知度（設問：あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか）

	1年生		2年生		3年生		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
聞いたことがあります内容も知っている	4	9.1%	7	17.1%	20	37.7%	31	22.5%
聞いたことはあるがよく知らない	22	50.0%	22	53.7%	21	39.6%	65	47.1%
聞いたことはない	18	40.9%	12	29.3%	12	22.6%	42	30.4%

②お世話をしている人の有無（設問：家族の中にあなたがお世話している人はいますか）

	1年生		2年生		3年生		計	
	人	%	人	%	人	%	人	%
いる	2	4.5%	1	2.4%	1	1.9%	4	2.9%
いない	42	95.5%	40	97.6%	52	98.1%	134	97.1%

※以下は、②で「いる」と回答した生徒のみ回答

③お世話をしている対象（設問：それはどなたですか）

	回答数
母	1
祖父	1
兄弟姉妹	2

④お世話が必要な理由（複数回答可）（設問：あなたがお世話をしている人の状況を教えてください）

	回答数
高齢者（お世話が必要な状態）	1
幼いきょうだい	2
答えたくない	1

⑤お世話の内容（設問：あなたが行っているお世話の内容を教えてください）

	回答数
家事	1
きょうだいの世話	2
見守り	1

⑥お世話の頻度（設問：お世話御をする頻度はどれくらいですか）

	回答数
ほぼ毎日	2
週に3～5日	1
週に1～2日	0
1か月に数日	1
その他	0

⑦お世話の時間（設問：学校がある日、家族のお世話をしている時間はどのくらいですか）

	回答数
1時間未満	3
1～2時間	0
3～4時間	1
5時間以上	0

⑧相談できる人の有無（設問：家族のお世話をすることで悩んだり困った時、話を聞いてくれたり相談できる人はいますか）

	回答数
いる	3
いない	1

⑨困っていることの有無（設問：家族のお世話をすることで、困っていることがありますか）

	回答数
ある	0
特にない	4

⑩ヤングケアラーの自覚（設問：あなた自身は、「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか）

	回答数
思う	3
思わない	1

⑪自由記載（設問：家族のお世話をしている子どものために、必要だと思われることや、学校や周りの大人にしてもらいたいことなど自由に記入してください）

回答のあった生徒138人中46人（33.3%）が、「特になし」「未記入」の回答でした。

回答のあった生徒138人中92人（66.7%）からは、「心のケア」「相談・話し相手」「寄り添い」「子ども自身がどうしてほしいか聞いてほしい」「相談できる環境づくり」「親身に聞いてくれる大人が身近にいてほしい」「好きなことを応援してあげる」など、気持ちの面での支援についての記載が多くありました。その他、「経済的支援」「ヘルパー]などサービス支援」など物理的支援が必要との回答や、「大人が気付いてほしい」「今回のようなアンケートや調査を定期的にやってほしい」「ヤングケアラーについて考える機会を作る」との回答も複数ありました。